

道建労協

Council of Road Construction Worker's Unions(C.R.U)

道路建設産業労働組合協議会

〒104 東京都中央区京橋1-19-11

(日本舗道労働組合内)

電話 03 (35662) 5857

発行人 宮崎敦史

編集人 日高純三

第12回定期大会開催

7月24日(木)ホテルラングサット

現在の産業

一つは昨今の経済情勢の中で、財政再建の命題が公共れます。「ある産業の市場が滅びてきた時にどうなるか」といことです。道路建設協会は昨年暮の面会で掘きぶつつあり、削減の嵐は当分やみそうないこと。もう一つは様々な規制に守られてきた産業はこうした規制をなくす中で競争にさらされること。そしてバブルの後遺症を抱えながら、パイが狭まる状況にいます。こうした情勢の中で道路業界の労働環境も厳しさを増すものと見られます。しかし一方「建設産業に対する世間の目はよくなりつつあることです。これらのことは、別々のようになってきていること。

現在の産業

総合的労働条件の向上

賃金—実質的な生活水準の向上
労働時間—土休取得の環境整備
—労働時間専門委員会の拡充
—建設産労懇での共同した活動
安全衛生、福祉対策への取り組み

組織の拡大と充実

地方活動の充実—地協及び他の加盟単組間の交流
組織運営の検討—内部体制、未組織労働者の組織の拡大—JVOールグ、専門委員会の充実—労働時間、産業政策

97年度の基本的な取り組み

関係団体との定例的な交流
関係官庁、マスコミとの意見交換
日建労・建設連合との意見交換・情報交換
産業政策専門委員会の拡充
産業政策活動

研修会—単組役員のレベルアップ
機関紙—タイムリーな情報伝達
ボスター—建設産労懇での統一ボスター
アンカー—労働時間、意識の把握
教育。調査活動の充実

1997年度取り組み

労働条件の向上

賃金、労働時間、制度、福祉等の総合的労働条件の引き上げ
賃金—実質的な生活水準の向上
労働時間—現業部門が土曜を実際に休めるような環境づくり
福祉対策—企業福祉の改善、自主福祉の検討

組織の充実と拡大

執行体制の充実と協議会活動の拡大
地方協議会の充実—地方の加盟単組の交流や活動の活性化
地協のない地域での交流—東北、中国、九州での交流会
労使懇談会の実施—労使での共通認識、共同解決
組織の拡大—未組織企業へのアプローチ、P R活動
専門委員会の拡充—労働時間、産業政策委員会の拡充

産業政策活動

産業に関わる諸問題を把握検討し、産業政策を確立
建設産労懇との産業政策担当委員会での充実
建設産労懇と共同したP R活動
建設省を始めとして関係諸官庁へへの活動、関係諸団体（道建協、アスファルト合材協会）定期的な交流

教育・調査活動の充実

機関紙—タイムリーな発行
ボスター—問題意識高揚の一助
—建設産業全体の取組（建設産労懇の統一ボスター）
調査時報—改訂版を作成
セミナー等の実施—組合役員セミナー（本部段階）
地方協議会の活動—意見交換会による現状把握

さて私たちは道くり設産業政策大綱」が求める競争的な部分とは、努力しな者が努力に依りて成果を配分されることといえます。経済の活性化と次世代への富の蓄積に貢献しています。私たちの産業は、働く者の社会的・経済的地位向上を図り、働きがいがあり、いきいきとした産業へと変えていかねばなりません。道路建設という物作りの尊き、すばらしさを後世に伝え社会への貢献を怠りかねばなりません。自然と違った様相を呈している。道建労協は11単組と人余の組織で、設立以来1年余の労働組合の中で最も同じ労働組合の利害の調整も計っているかもしれません。

平成9年7月15日

組合員名位

道路建設産業労働組合協議会
役員会計監事選挙管理委員会
委員長 井田公男

公示

道路建設産業労働組合協議会平成9年度役員・会計監事選挙の候補者を、下記の通り公示致します。

役職	候補者名	単組名
議長	日高純三	日本舗道労働組合
事務局長	宮崎敦史	前田道路労働組合
副議長	工川靖	東亜道路労働組合
〃	植松務	大成ロテック社員組合
〃	桑原豊	大林道路職員組合
〃	齊藤直志	日本舗道労働組合
中央実行委員	坂本晶	三井道路労働組合
〃	曾根崎義治	不動建設労働組合
〃	荒木俊一	フジタ道路職員組合
〃	桐生伸治	全大有労働組合
〃	吉原浩昭	東京舗装工業社員労働組合
会計監事	池田昌基	大成ロテック社員組合
〃	石川孝幸	大林道路職員組合

97春闘一時金交渉まどまる

— 厳しい情勢を反映 —

今回の春闘は、日本経済が全体としては、長期にわたる不況から脱し緩やかな回復基調に向かいつつある状況の中で行われた。しかしながら製造業を中心に円安の懸念などで国際競争力を回復し、過去最高益を更新した業種とパールの処理に苦しみ固定費が減少しつつある大企業と、中小企業の景況感の違いが際だつて行われた。

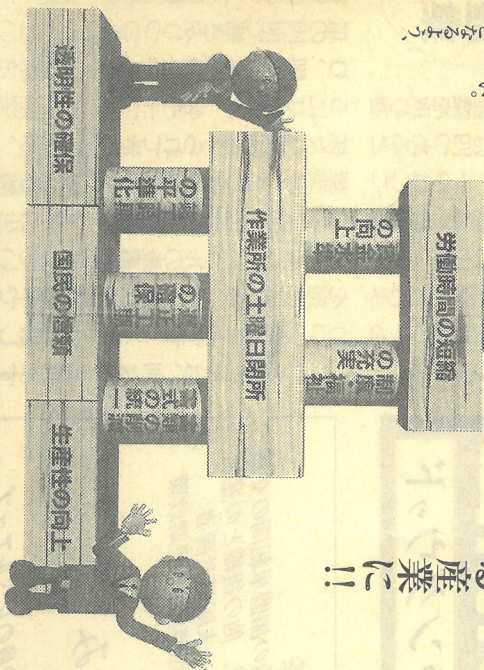
建設産業の業績は、長引く不況の中、民間部門、建物の、受注競争の激化に

たは三〇歳一三、〇〇〇円を基礎とする。「但し定員相当分は含むものとすど、各単組の交渉当事者は、一、二時金は前年実績を基に下回らないものとする」という方針の中で、道建の先細の予想という状況があり、競争激化、投資額の低迷から非常に厳しい交渉は労働条件の改善を求め、要求作成に当った。と先行き不透明感の中で行われ、各単組とも回答提示に企業業績が製造業を中心収益が改善され、全体では三・七％増と昨年を上回ったものの、中でも製造業の伸びが、非製造業を上回っている。特に建設産業においては企業収益を反映した半の単組が最も厳しい交渉を要するものとなった。

本部スケジュール

6月13日	三役会
6月20日	中国地方単組交流会 関東地協ラ・テ・アター教室
6月23日	中央執行委員会
6月27日	中部地協意見交換会
7月10日	全国通建定期大会
7月18日	建設産労懇政政策担当者会議
7月23日	建設産業人材育成推進協議会
7月24日	第111回定期大会
7月25日	大林道路職員組合定期大会
8月5日	日建協定期大会
8月22日	大成ロテック社組定期大会 全大有労組定期大会 前田道路労組定期大会
8月25日	日本舗道労組定期大会

日本建設産業職員労働組合協議会（日建協）
建設連合
道路建設産業労働組合協議会（道建労協）
私たちは建設産業の能力化に取り組んでいます。



厳しい時代だからこそ前向きに取り組みたい。
一度に無理かもしれないが、少しずつ前進したい。
みんなを取り組むことが大切と考えます。

未来の夢をもっと託せる魅力ある強い産業となるよう、

ひとつずつ積上げ、
魅力と活力あふれる産業に!!

産 労 懇 意 見 告

建設産業懇では、建設産業の能力化に向けた活動の一環として、意見広告を七月七日付の建設3紙（日刊建設工業新聞、日刊建設通信新聞、日刊建設産業新聞）に掲載した。

97 夏 期 一 時 金 結 果

単 組 名	要 求		妥 結	
	金 額	率	金 額	対前年 同 35歳ポイント額
大林 道 路 職 組	組合員総合職平均 年間 2,082,000円	前年実績 3.0%増	総合職職員平均 2,048,500円	対前年 同一人物 2.0%増
全 大 有 労 組	年間組平 1,525,590円	前年実績 8.2%増	年間組平 1,388,726円	1.5%減
大成ロテック社組	年間総合職組平 1,940,000円	前年実績 0.4%増	年間総合職組平 1,807,000円	126,000円減 6.5%減
東 亜 道 路 労 組	前年冬に年間交渉		年間組平 1,600,000円	25,000円増 1.6%増
東京舗装工業社組	組平 800,000円	前年実績 19.8%増	組平 647,000円	21,000円減 3.14%減
日 本 舗 道 労 組	年間組平 2,550,000円	前年実績 1.59%増	年間組平 2,545,000円	35,000円増 1.39%増
フジタ道路職組	年間35歳P 1,824,000円	前年実績 35P 6.4%増	年間35P 1,689,740円	10,260円減 0.6%減
不 動 建 設 労 組	年間30歳P 1,630,000円	前年実績 30P 4.7%減	年間30P 1,350,000円	360,000円減 21.0%減
前 田 道 路 労 組	年間30歳P 2,267,000円	0.3%増	年間30P 2,176,629円	83,571円減 3.7%減
三 井 道 路 労 組	年間35歳P 1,800,000円	35P前年実績 23.6%減	年間35P 1,360,000円	35歳P (夏期)

(注)年間交渉の単組で不動労組は春、夏型で春闘時にその年の夏、冬を確定する。
東亜道路労組は、冬に、その年の冬と翌年の夏を確定する。
他の単組は、春闘時にその前年の冬の反ばいと夏の合算額を確定する。

97 春 闘 結 果

単 組 名	妥 結	
	金 額	付帯部分
大林 道 路 職 組	組合員総合職平均 10,655円 基準内定込 3.0%	総合職平均 11,330円 基準内定込 2.86%
全 大 有 労 組	組合員社員平均 12,250円 基準内定込 4.0%	組合員社員平均 8,090円 基準内定込 2.64%
大成ロテック社組	総合職組合員平均 12,991円 基準内定込 3.5%	総合職組合員平均 9,876円 基準内定込 2.66%
東 亜 道 路 労 組	組合員平均 14,500円 基準内定込 3.96%	組合員社員平均 10,300円 基準内定込 2.82%
東京舗装工業社組	組合員平均 16,000円	組合員平均 8,926円 基準内定込 2.8%
日 本 舗 道 労 組	組合員平均(5歳未満) 15,600円 基準内定込 3.5%	組合員平均 10,050円 基準内定込 2.25%
フジタ道路職組	組合員平均定込 13,059円 対基本給 1.5%	組合員平均 11,093円 対基本給 3.7%
不 動 建 設 労 組	30歳P 12,440円 30P基準内定込 4.03%	30P 8,280円 30P基準内定込 2.68%
前 田 道 路 労 組	30歳P 14,103円 30P基準内定込 3.9%	30P 10,465円 30P基準内定込 2.88%
三 井 道 路 労 組	組合員平均 10,691円 基準内定込 3.8%	組合員平均 円 %

(注)・要求および受結欄の金額は組合員平均
・35歳の金額は、59年大卒入社・東京地区自宅居住・技術職の手当を含むアツツ額